

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	住吉区
学 校 名	大阪市立東粉浜小学校
学校長名	校長 津田 毅

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 61 名

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

調査対象となった「国語」「算数」の2教科すべて、大阪市及び全国平均よりも上回った。全国平均から6.8ポイント上回った「国語」が最も高く、「算数」は6.5ポイント上回る結果となった。出題問題の分類区分を見ても、すべての内容・観点において大阪府・全国の結果を上回っており、これまでの学習の定着が伺えた。また、無回答率においては、「算数」で2問、全国平均に比べて高い結果だったものの、その他は全て大阪市及び全国平均よりも下回った。児童質問紙における回答時間の質問についても、「国語」「算数」とともに余裕をもって解答をすることができたと感じた児童が多かったことや、「学習が大切である」「理解している」という質問事項で85ポイントを上回っている結果であった。

## 分析から見えてきた成果・課題

【国語】「書くこと」の分野では、全国平均よりも15ポイント近く上回っている。図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き方の工夫をすることについて、事実と考えを分けて、指定字数にまとめて表現することができていた結果となった。また、問題形式でいうと記述式でも正答率が高く、日ごろから文章を書く力が身につけているといえる。「話すこと・聞くこと」では全国平均よりわずかに下回った。必要なことを質問しながら聞いたり、話し手の伝えたいことや聞きたいことの中心を捉えることができるよう、体験的な学習を取り入れた、系統的かつ継続的に学習する工夫を取り入れていく必要がある。

【算数】積極的に練習問題に取り組む成果が全ての領域で全国平均よりも上回る結果となった。特に「図形」では、全国平均よりも10ポイント近く上回っている。「数と計算」の項目の正答率においては、全国平均とほとんど変わらず基礎基本の学力はついているが、式を場面と関連付けて読み取ることによりやや課題が見られる。一層正答率が上がるように、習熟度別・少人数学習を行ったり、一人一台端末を活用したりしながら、個別最適な学び、協働的な学びにむけた指導法の工夫が必要である。

### 質問紙調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対しての肯定的な回答がそれぞれ90%をこえ、自尊感情、自己有用感が高いことがわかった。また、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対しての肯定的な回答は下回る結果となったが、80%を超えることができた。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問に対しての肯定的な回答が全国平均よりも高い。また、学校が休みの日や平日の学校の授業時間以外に3時間以上勉強をしている児童の割合も高く、全国平均と比べ家庭での学習も積極的に行っていることがわかった。今後としては、「授業で、ICT機器を使用しましたか」という質問に対しての肯定的な回答は大阪府・全国平均を下回っているため、授業法の工夫が必要である。

## 今後の取組(アクションプラン)

自己肯定感、自己有用感を培うために今年度から取り組んでいる縦割り班活動を充実化させ、自他ともに認め合い、支え合うことができる環境づくりを進めていく。また、探求読解プロジェクトや本物との体験を通してキャリア教育も充実させていく。

表現力の育成においては、引き続き思考ツール等を活用した授業研究により書くことを習慣化し、自分の思いを伝え合う力の向上を図っていく。「算数」では習熟度別少人数指導等を活用し、個別最適な学びを推進していく。また、どの教科でも、児童が自分の考えや思いを伝え合う交流の場を設定し、協働的な学びに迫ることができる授業展開をめざす。そのためにも、現在、積極的にICT機器を活用した授業を展開しているが、一人一台端末を活用した授業を一層推進していきながら、さらに活用を日常化することで児童の情報活用能力を育成し、個別最適な学び、協働的な学びに向けて実践を継続して進めていきたい。

# 【 全体の概要 】

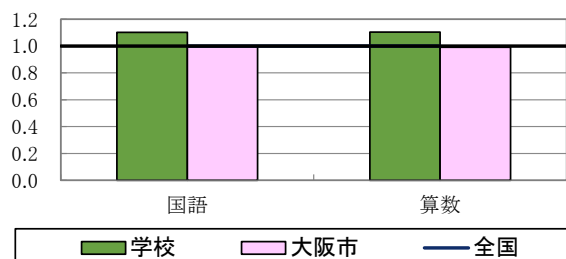
## 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	74	69
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

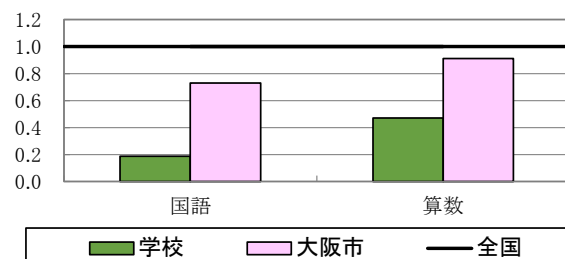
## 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	0.9	1.6
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



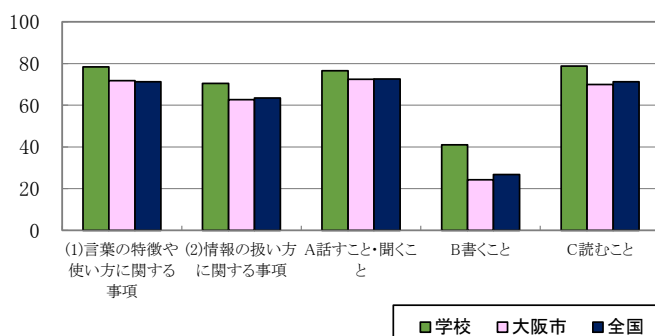
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	78.4	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	70.5	62.6	63.4
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	76.5	72.4	72.6
B 書くこと	1	41.0	24.2	26.7
C 読むこと	3	78.7	69.9	71.2

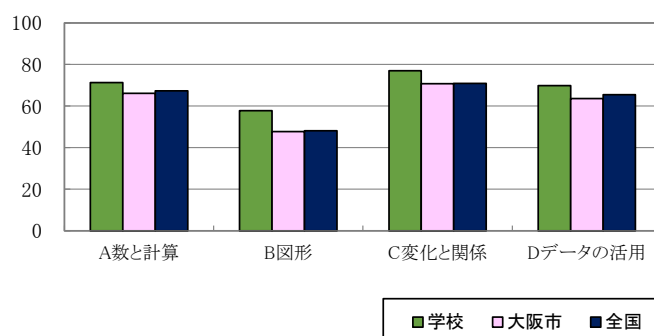
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	71.3	66.1	67.3
B 図形	4	57.8	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	77.0	70.8	70.9
D データの活用	3	69.9	63.6	65.5

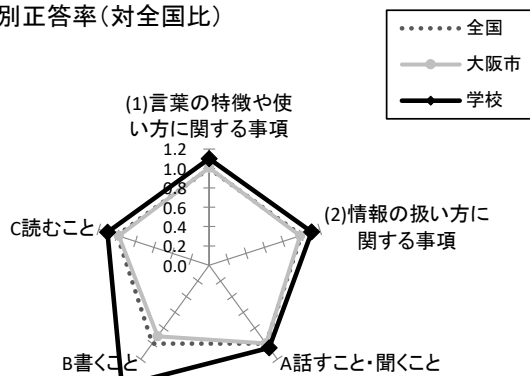
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



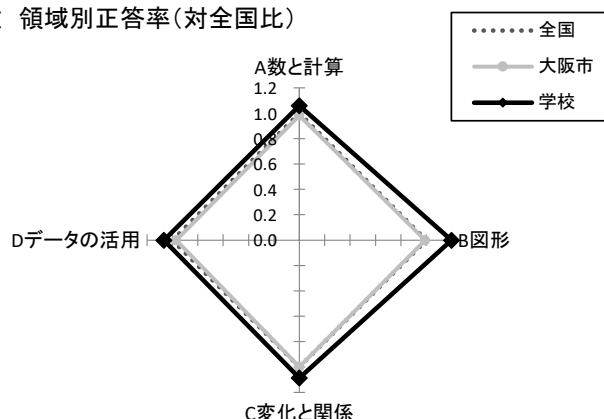
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)

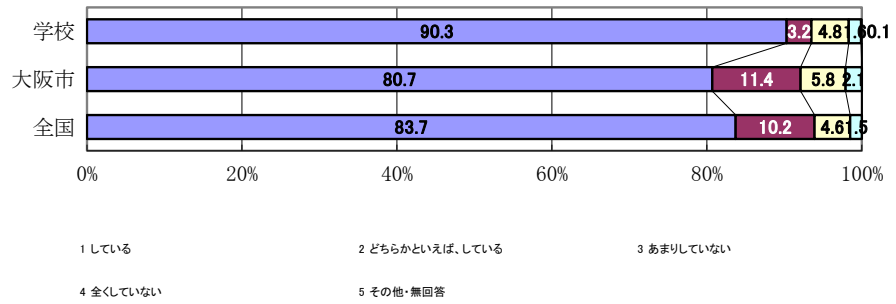


# 児童質問紙より

質問番号  
質問事項

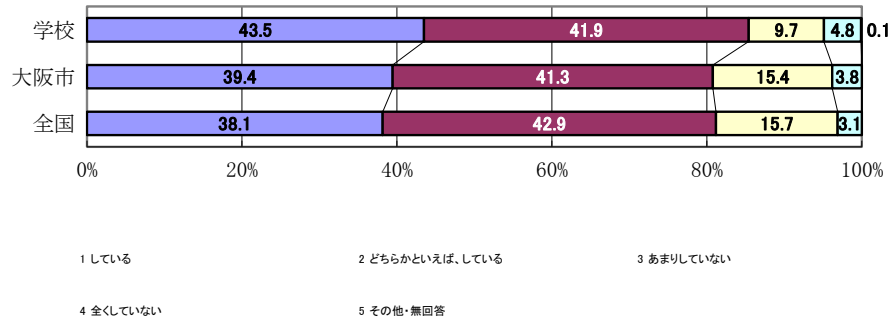
1

朝食を毎日食べていますか



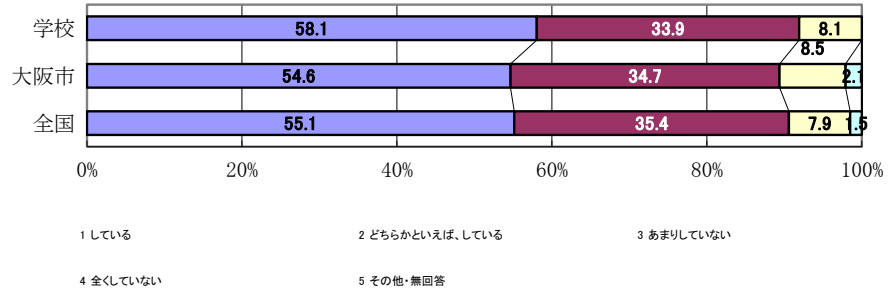
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



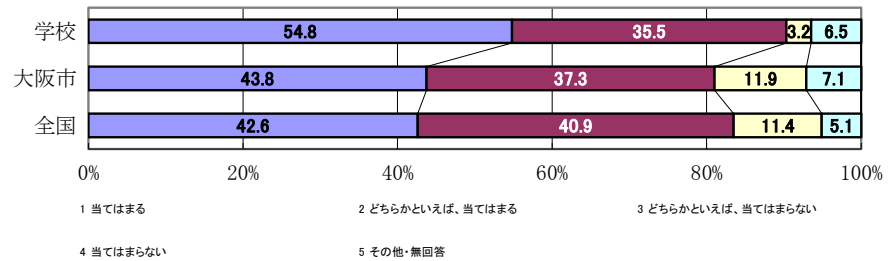
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



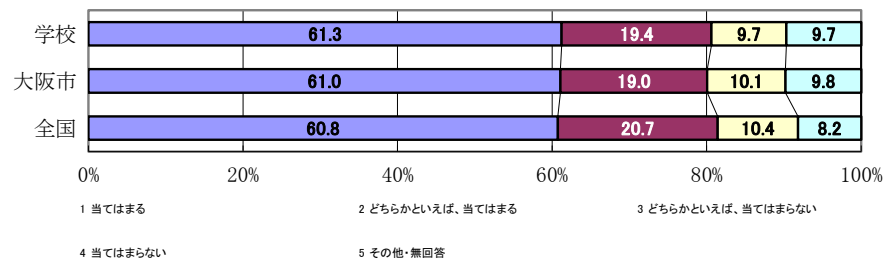
4

自分には、よいところがあると思いますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



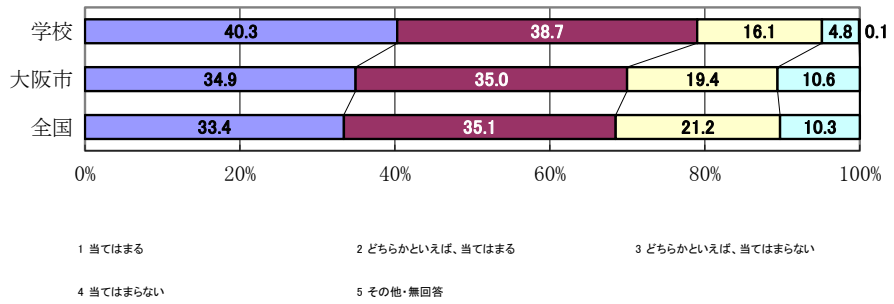
# 児童質問紙より

質問番号

質問事項

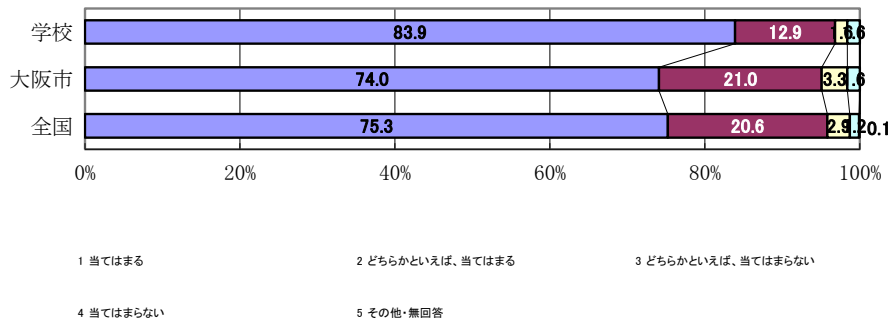
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



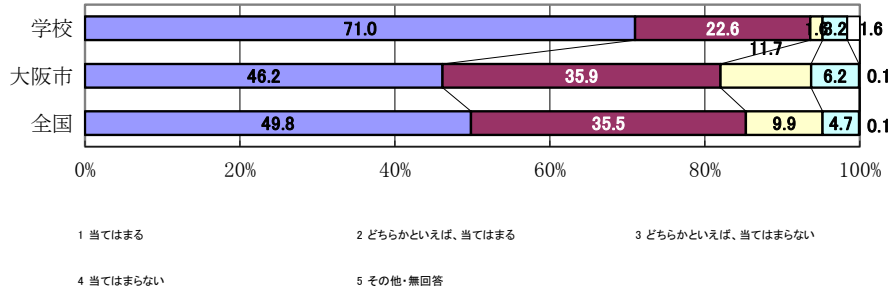
11

人の役に立つ人間になりたいと思う



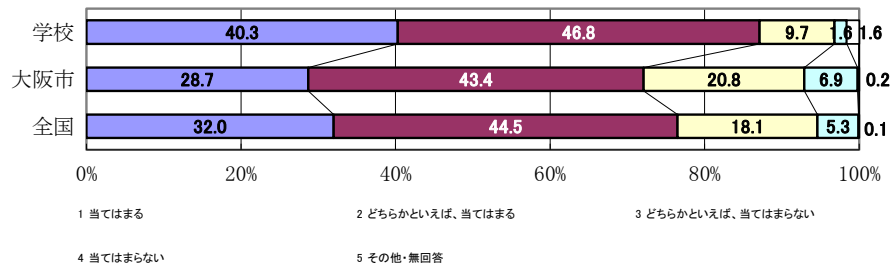
12

学校に行くのは楽しいと思う



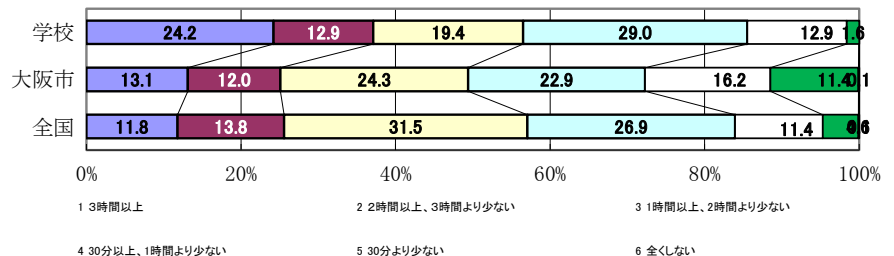
13

自分と違う意見について考えるのは楽しい



17

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）



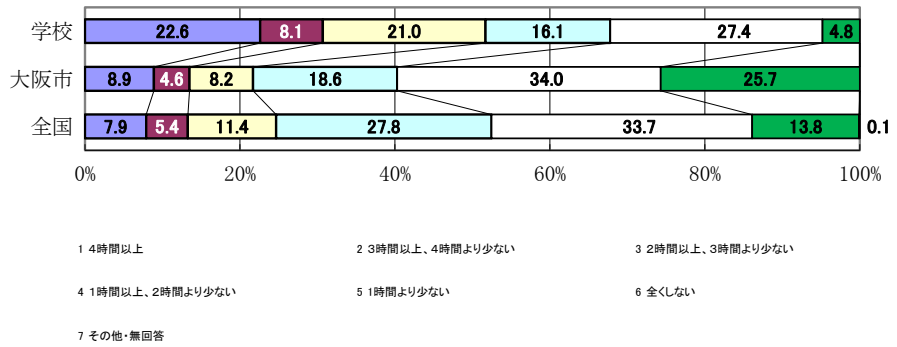
# 児童質問紙より

質問番号

質問事項

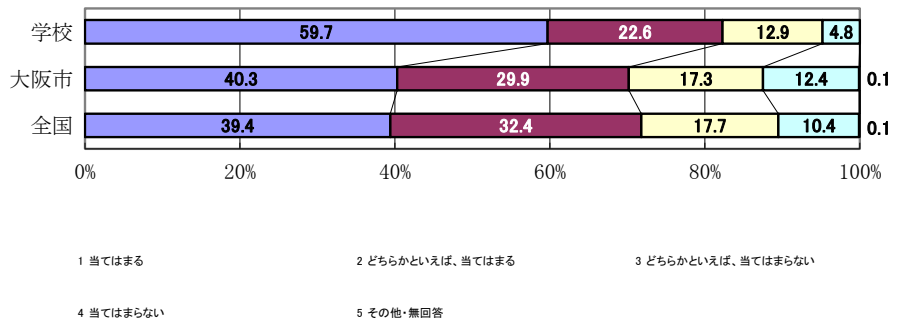
18

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）



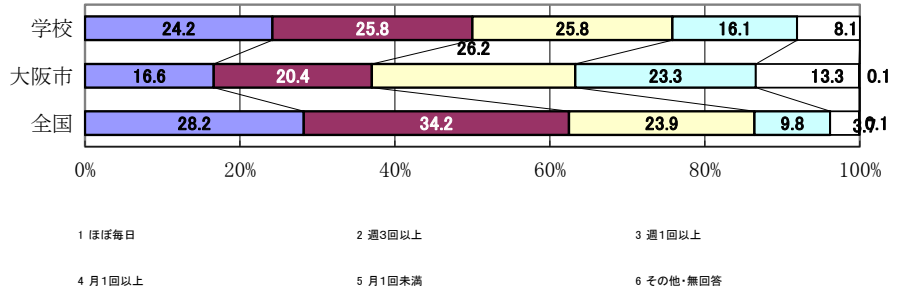
24

読書は好きですか



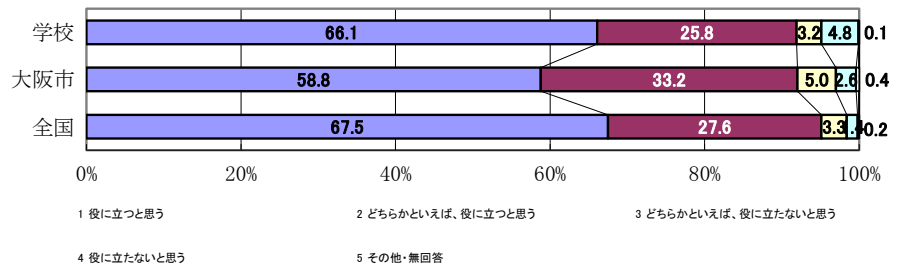
29

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



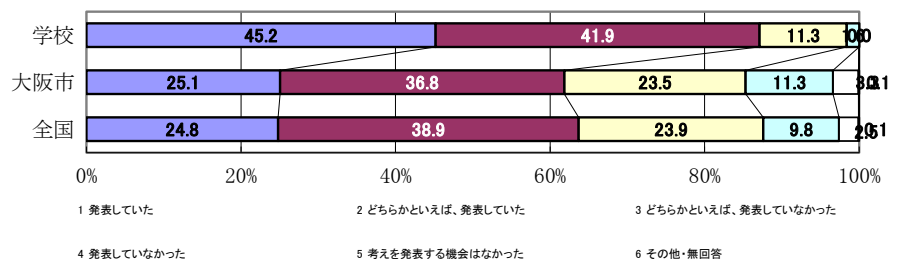
30

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



32

（5年生までに受けた）授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

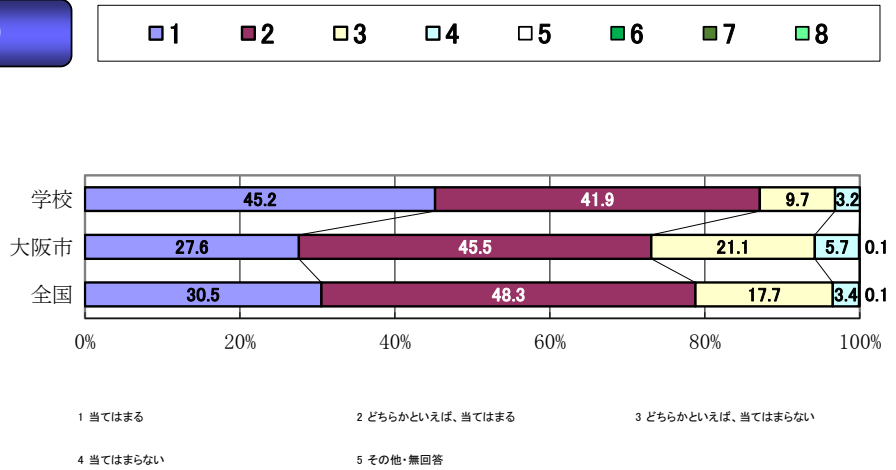


# 児童質問紙より

質問番号  
質問事項

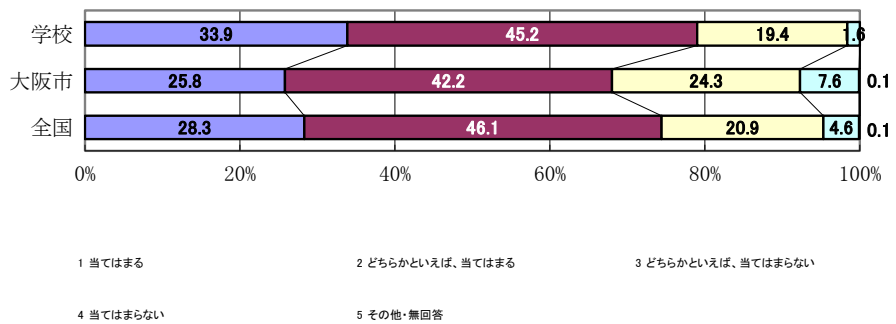
33

(5年生までに受けた)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



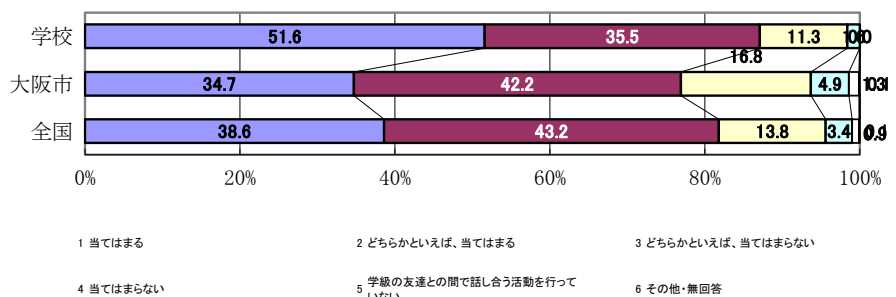
34

(5年生までに受けた)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた



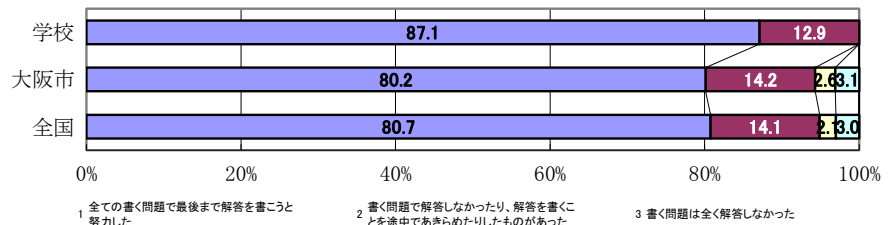
36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



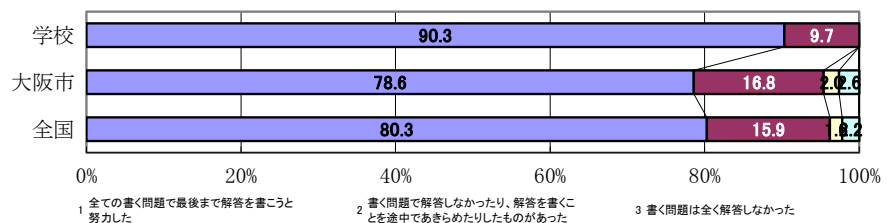
60

今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



62

今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



# 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

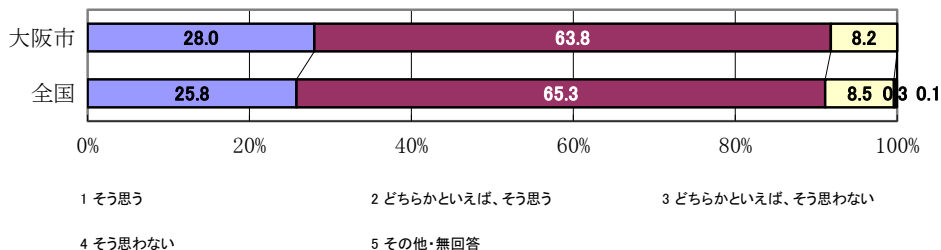
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強している

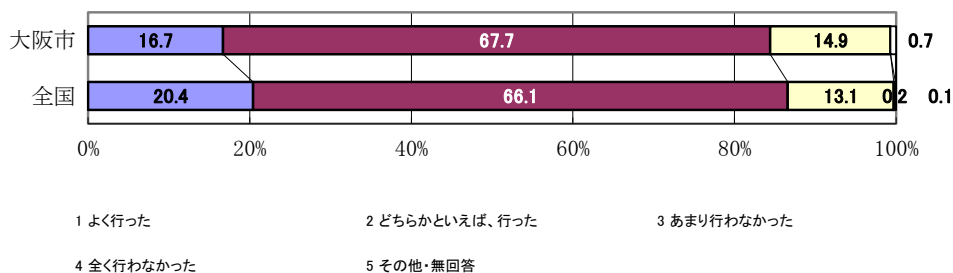
学校「**「そう思う」**を選択



11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

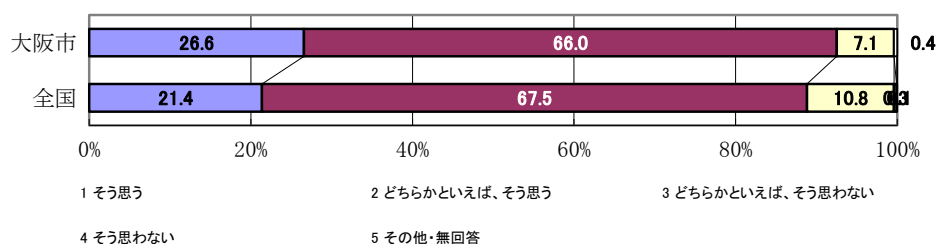
学校「**「どちらかといえば、行った」**を選択



26

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる

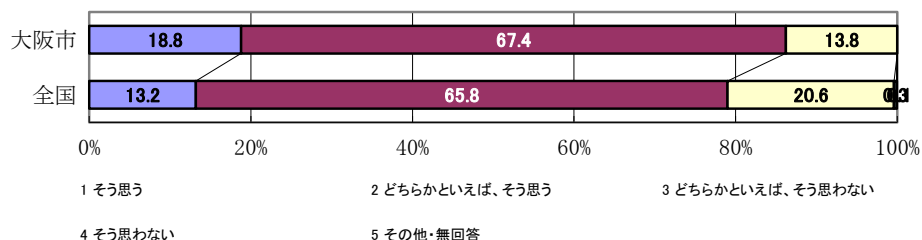
学校「**「どちらかといえば、そう思う」**を選択



27

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができる

学校「**「どちらかといえば、そう思う」**を選択



29

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

学校「**「どちらかといえば、そう思う」**を選択

